特別部等理に関する 新技術フォーラム 2025

~橋梁の健康寿命を延ばし、脱炭素社会の構築に寄与する~

現在、我が国の橋梁は確実に高齢化が進行しており、計画的かつ適切な維持管理が喫緊の課題となっています。

橋梁を健全な状態で長く活用し続けることは、CO₂排出量の多い「撤去・新設工事」を減らすことにつながり、脱炭素社会の実現にも大きく寄与する重要な取り組みです。私たちは、この橋梁の長寿命化こそが、持続可能な社会を築くための重要な第一歩であると考えています。

本フォーラムでは、構造解析の理論的アプローチから、材料・施工・塗装・モニタリング技術に至るまで、橋梁のライフサイクル 全体を通じた最新の維持管理技術を幅広く紹介します。

学術的な観点から構造物の解析手法を学ぶとともに、産業界からは、劣化環境に対応した塗装技術、三次元データを活用した維持管理サイクルの刷新、有害物質を含む塗膜処理を可能にするブラスト技術、レーザーによる下地処理と安全対策など、鋼橋分野における先進的な取り組みを紹介いたします。

また、コンクリート構造物の分野では、亜硝酸リチウムを用いた補修技術による鉄筋腐食抑制の最前線や、施工段階で生じる初期欠陥を制御するための方策など、長寿命化に直結する知見について紹介いたします。

維持管理に携わる技術者の皆様にとって、本フォーラムは、多様な視点から橋梁の未来をあらためて見つめ直す貴重な機会になると自負しています。

この学びの場が、橋梁の長寿命化、そして次世代へと受け継がれる強靱で持続可能な社会の実現へと結びつくことを心より願っています。

※本プログラムは土木学会認定CPDプログラムです。



広島県民文化センター

広島市中区大手町1丁目5-3 https://www.rcchall.jp/bunkac/

定

定員530名

定員になり次第締め切らせていただきます

参加費/無料

お申し込みはこちらから | お願いします





https://www.j-cma.jp/?cn=101063



12月5日 億 開場9:30

会 趣旨説明 徳納 剛 (コンクリートメンテナンス協会 会長) 10:00~10:10

第 1 部 藤井 堅 先生 (広島大学名誉教授)

10:10~11:10

「構造物の現象を把握するための解析法と仮定・ モデル化について

11:10~11:20

第2部 真田 祐介氏(日本ペイント株式会社)

11:20~11:50

「高防食耐久性塗料『ダンジオーラE下塗』 のご紹介 |

第3部 田尻 大介氏 (DataLabs株式会社 代表取締役CEO) 11:50~12:20

「3D InfraLoopによる新たな インフラメンテナンスサイクルの確立し

12:20~13:20

第 4 部 鈴木 陸渡氏(大塚刷毛製造株式会社)

13:20~13:40

「鋼構造物塗装における有害物とその対策 ~PCB処理の動向~|

第5部 安井 久敬氏(福徳技研株式会社)

13:40~14:00

「マルチメディア・ブラスト工法について ~研削材リサイクル型ブラスト工法~ |

第6部 安本 学司氏 (オプティレーザーソリューションズ株式会社) 14:00~14:20

「レーザークリーナーによる施工と 安全対策について

休憩

14:20~14:30

第7部 江良 和徳氏 (コンクリートメンテナンス協会 技術委員長) 14:30~15:50

「橋梁の長寿命化を実現する亜硝酸リチウム 補修技術の最前線 | (仮題)

休 憩

15:50~16:00

第8部 十河 茂幸 先生 (近未来コンクリート研究会代表) 16:00~17:00

「施工で生じる初期欠陥を制御するための対策 |

※講演者、講演題目は変更される場合がありますのでご了承ください。

参加申込 参加費 https://www.j-cma.jp/

■申込先/コンクリートメンテナンス協会のホームページより お申込下さい。

※定員になり次第締め切らせていただきますのでご了承ください。

Lecture profile



■所属/インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」 フォーラムリーダー、広島大学名誉教授 ■専門/構造 力学、構造工学、鋼構造、複合構造、橋梁工学、維持管 理■資格/工学博士、技術士(鋼・コンクリート部門) ■所属学会/土木学会(名誉会員)、日本鋼構造協会 ■著書/座屈設計ガイドライン、2005(分担)など■ 賞/材料学会中国支部 功労賞、構造工学シンポジウ ム論文賞■主な経歴/1977年3月 広島大学大学院 丁学研究科十木丁学専攻 修了 1977年4月 川田丁 業㈱1979年3月 広島大学 2017年3月 同 上 退職



■所属/近未来コンクリート研究会代表 コンク リートメンテナンス協会顧問■資格/工学博士、技術 十(建設部門),コンクリート診断十、1級十木施工管 理技士、プレストレストコンクリート技士■所属学会 /土木学会(名誉会員)、日本コンクリート工学会(名 誉会員)■著書/コンクリート名人養成講座(日経BP 社)ほか多数■賞/セメントコンクリート論文賞(2 回)、日本コンクリート工学会功労賞、日本コンクリー ト工学会技術賞



■所属/コンクリートメンテナンス協会 専務理事/ 技術委員長**■業務内容/**コンクリート構造物の調査・ 診断・補修・補強業務、亜硝酸リチウム関連技術に関す る研究開発、その他、コンクリート構造物の維持管理 に関する業務■資格/博士(工学)、技術士(総合技術 監理部門、建設部門)、コンクリート診断士、コンクリー ト構造診断士、1級土木施工管理技士、プレストレスト コンクリート技士、コンクリート技士、保育士、ほか ■所属学会/(公社)土木学会、(公社)日本材料学会、 (公社)日本コンクリート工学会■賞/2009年 日本 材料学会 論文賞、2010年 日本材料学会 技術賞



■所属/日本ペイント株式会社 マーケティング本部 マーケティング部■業務内容/重防食領域における新商 品の企画、導入およびプロモーション■主な経歴/2006 年 日本ペイント株式会社(現日本ペイントコーポレートソ リューションズ)入社 防食領域の製品開発から技術 サービス、営業業務に従事。2015年海外グループ会社日 本ペイントシンガポール出向 現地での製品開発業務を マネジメント。帰国後、社内東大協創プロジェクトに従事 し、2024年より現職に至る



■所属/DataLabs株式会社 代表取締役CEO■業務 内容/3次元データを用いたクラウド型システムの開発・ 提供、上記システム開発に関連する研究開発等■所属学 会 / コンクリートメンテナンス協会、RXコンソーシアム、 土木学会■賞/土木学会 構造工学委員会 デジタルツイ ン・DX奨励賞、Morning Pitch Special Edition 2024 最優秀賞、令和5年度 インフラDX大賞 スタートアップ奨励賞、NEXCO中日本高速道路DXアイデアコンテスト優 秀賞、アクセラレーションプログラム未来X(mirai cross) 2022部門別最優秀賞、SONY Startup Switch2021グランプリ ソニー賞・LIXIL賞 ほか



■所属/大塚刷毛製造株式会社 マーケティング2部

■業務内容/建築·鋼構造物塗装関連資材販売

■資格/鉛作業主任者、石綿作業主任者



■所属/福徳技研株式会社■業務内容/塗装工事、コン クリート補修工事、補修材料の販売・開発**■資格**/コンクリート診断士、コンクリート技士、】級土木施工管理技士 ■所属学会/コンクリートメンテナンス協会、広島県コン クリート診断士会、マルチ・ブラスト協会■主な経歴/広 島県立広島国泰寺高等学校卒業。法政大学工学部都市環 境デザイン工学科で培った専門知識を基盤に、2012年よ り福徳技研株式会社に入社し、鋼構造の塗替塗装、コンク リート構造物の調査・診断・補修までを一貫して行ってお



■所属/オプティレーザーソリューションズ株式会社■業 ■内臓/ 務内容/レーザークリーニング装置・ULTLASERの製造 及び販売■資格/レーザー施工士■所属学会/一般社団 法人日本レーザークリーナー協会■主な経歴/平成29 年4月 VERDANT HOLDINGS Co. ltd シンガポール法 令和5年10月 オプティレーザーソリューション 人設立 ズ株式会社 設立 防衛省に国内で初めてレーザー リーナーを導入。その後、大手重工業・航空関連・自動車 業界など幅広くレーザークリーナーの導入を展開。近年イ ンフラ・メンテナンス業界等で民間及び公共工事など多 数施工実績有り。令和7年5月 一般社団法人日本レー ザークリーナー協会 設立 同年JLC工法を考案、NETIS に申請。12月 登録完了予定 現在に至る